

予想される都議補選候補に決定

東 ひろたか 前 都 議



日本共産党都議会議員予定候補

4月行われる江東区長選挙に、自民党現職都議会議員が立候補を表明。それにともない、都議会議員補欠選挙が予想されます。日本共産党江東地区委員会が、この補欠選挙に備えて前都議会議員の東ひろたか氏の立候補擁立を決定しました。東氏の決意・政策などを紹介します。

なんとしても議席をとりもどして

東 ひろたか

予定される都議補欠選挙の候補者に決まり、何としても失った議席を取り戻す決意を固めています。

豪華海外出張と税金で高級料亭での飲み食い、身内の重用など都政の私物化、こんな石原知事の暴走を許す背景には自民、民主、公明の知事提案に何でも賛成の「オール与党」体制があります。江東の四議席はすべてオール与党に独占されています。

議席を取り戻し、知事とオール与党の暴走を許さず、何よりも貧困と格差をなくすために全力をあげます。オリンピックに名を借りた大型開発に反対し、都民の税金は都民のくらし優先のために使われるよう力をつくします。

江東区の四議席の一角に、都民本位の都政貫くたしかな野党・日本共産党が議席を占めるよう、みなさまのご支持・ご支援、よろしく願います。

プロフィール

□1936年、鹿児島県国分市に6人兄弟の長男として生れる。鹿児島工業高校卒。村の半分が空襲を受け「戦争と貧乏をなくす」決意で日本共産党に入党47年活動

□1976年不破哲三衆議員の秘書として地元の相談活動に加わり、マンション相談や下請け代金の未払いの解決などとりくむ。

□1981年、都議会議員に初当選、以後85・97・01年当選。

□02年04年、文教委員長を務め、父母、教育関係者の陳情・要望を受ける。城東高校建設、都営住宅、江東養護学校の増築を実現。

都議会になくってはならない人



日本共産党江東地区委員会 委員長 新野 正雄

「戦争と貧乏をなくすことが私の原点」と東さんはよく言います。この政治信条にもとづき、福祉や暮らし、平和を守る行動力は抜群で、人々に勇気を与えています。

石原都知事の都民いじめの政治を変えるため、都議会になくってはならない人が東ひろたかさんです。

悪政にきっぱり対決できる人



日本共産党江東区議員 区長 あげ上 三和子

都政も江東区政も「小さな政府」「自己責任」の名のもとに住民ばかりに負担と犠牲をおしつけ、その一方で税金をたくさんため込んでいます。

こんな政治にきっぱりものを言う議員が求められています。

東ひろたかさんとともに私たち江東区議団も全力でがんばります。

石原都政のゆがみを正し

子どもに笑顔 高齢者に安心 青年に希望を

私、東ひろたかは みなさんと力をあわせて

- 憲法九条を守ります
- 勉強がよくわかり、学校が楽しい30人学級を実現します
- 子どもの医療費無料化を中学3年生まで拡大します
- 医療機関・公共施設を循環する都バスを運行させます
- 介護保険の減免制度を充実させ、特別養護老人ホーム、ショートステイの増設をすすめます
- 大震災に備え、公共施設、橋梁、木造住宅の耐震補強をすすめます
- 都の消防職員、教職員、看護師などを増やし、青年の正規雇用を拡大します
- 中小企業・商店振興、地元産業支援をすすめます
- 都営住宅の大量建設を実現します



豪華海外出張
税金飲食

四男重用の
都政私物化

シルバーパス全面有料化
老人医療費助成廃止

1兆円規模の
大型開発

江東の四議席、オール与党でよいのでしょウガ

豪華海外出張に税金飲食、四男重用の都政私物化、福祉の大幅削減など、石原都知事の乱脈・暴走に都民の批判が高まっています。

なぜこんな事がまかりとおるのでしょウか。その背景には、石原知事の方針には何でも賛成の自民、公明、民主の「オール与党」の姿があります。一昨年夏の都議選後、知事提出の四八九件の議案に自民、民主、公明は一〇〇%賛成です。これでは行政をチェックする議会の役割は果たせません。

日本共産党は石原知事の案件に都民の立場から厳しく内容をチェックし、賛成率六二%となっています。

民主党は野党ポーズで江東の四つの議席のうち二つの議席をしめています。自民党と変わりません。

●都民いじめ推進の民主党(都議会民主党議員の発言)
○福祉手当は寝たきりを助長

「老人福祉手当という現金給付制度は、寝たきりを助長する」(〇三年本会議)

○起立しなかったら、教員を処分しろ

「(『君が代』で)多くの生徒が起立しなかった：これにかかわった教員は処分すべき」(〇四年 予算特別委)

○「ババア」発言を激励

「(石原知事のババア発言について)女性ファンは大変ショックを受け、(ファン)が減ってしまったようですが、はっとするほど知事は生き生きとされていらっしゃいます」(〇二年本会議)

●日本共産党都議団

日刊スポーツ紙は石原知事の乱脈、私物化の実態を明らかにし、石原タブラーに風穴をあけるきっかけをつくった共産党都議団の調査を「他の追随を許さないのが日本共産党都議団の調査だ」と、報道しました。

議会のなかで石原都政と「オール与党」との対決を貫いた日本共産党・東ひろたか候補でこそ、不正・乱脈を正し、都民生活をまもることができます。

何としても議席を取り戻し

子どもに笑顔、高齢者に安心、青年に希望を

東ひろたか氏の公約

- 一、都政の私物化、税金のムダづかいを許さず、都民の声が生きる都政に転換します。
- 二、大型開発中心の都政から、くらし・福祉優先の都政に転換します。
- 三、憲法否定の石原都政から憲法を都政の中心にする都政に転換します。

重点公約

- ①税金の使い方、ムダをなくし都民本位に切り替えます。
- ②青年の雇用を拡大し、格差社会を都政の立場で正します。
- ③三十人学級を実現し、子どものすこやかな成長はぐくみます。
- ④中小企業予算を増やし、地場産業・地域経済の活性化をすすめます。
- ⑤水と緑の環境を優先し、災害に強い街づくりをすすめます。
- ⑥臨海部の大規模開発を見直し、江東区民本位の街づくりをすすめます。
- ⑦憲法を守り、平和な東京をめざします。



江東の大事な都議の4議席

豪華海外出張
税金飲食

4男重用の
都政私物化

福祉切り捨て

こんな石原都知事の 与党だけで良いのでしょうか

石原都知事の乱脈・暴走の都民の批判が高まっています。

なぜこんな事がまかりとおるのでしょうか。その背景には、石原知事の方針には何でも賛成の自民、公明、民主の「オール与党」の姿があります。一昨年夏の都議選後、知事提出の四八九件の議案に自民、民主、公明は一〇〇%賛成です。これでは行政をチェックする議会の役割は果たせません。

知事と一体となった「オール与党」体制の八年間で。

● 福祉・保健関係費を四五〇億円減。

● 中小企業予算三割削減

● 再開発、大型幹線道路など大型開発を促進、

など、都民無視の逆立ち政治を推進しています。

とりわけ民主党は野党ポーズをとっていますが、「東京で一〇〇%賛成でオール与党になったているが、それは知事が根回しした結果」(前原・民主党前代表)が認めているように、自民党とまったく変わりません。

江東の都議の四議席、自民、民主二、公明が独占しています。これでは知事の乱脈・暴走をすすめるだけです。

日本共産党

日刊スポーツ紙は「他の追従を許さないのが二本共産党都議団の調査だ」と、石原知事の乱脈、私物化の実態を明らかにし、石原タワーに風穴をあけるきっかけをつくった共産党都議団の調査を報道しました。

石原知事の提案の起案には、内容を検討し賛成率六二%と、都民の立場から厳しくチェックしています。

「オール与党」と議会のなかで石原都政との対決を貫いた日本共産党・東ひろたか候補でこそ、都政の転換は可能です。